

—News Release—

2017年6月12日

スマホ決済サービス「NIPPON PAY」国内外食チェーン初導入 1台で「WeChat Pay」「Alipay」が決済可能、FIT 向けに利便性強化

ワタミ株式会社(東京都大田区・代表取締役社長 清水邦晃)は、スマートフォンを使用した決済サービス「NIPPON PAY (ニッポン・ペイ)」を、6月12日(月)より、国内の外出チェーンでは初めて東京都内にある「和民」3店舗で試験的に導入を開始いたします。これによって、中国で広く利用されている決済サービス「WeChat Pay」「Alipay」に1台で対応できます。この取り組みは、株式会社 NIPPON PAY と提携したもので、海外から日本を訪れる旅行者への利便性を高めます。

◆インバウンドのキャッシュレス化に対応！

1台でスマホ決済「WeChat Pay」「Alipay」に対応

ワタミでは、海外でスマートフォンを使用した決済サービスが日常的に利用され、キャッシュレス化が進んでいることを受け、複数のモバイル決済手段に対応した「NIPPON PAY」を国内外食チェーンとして初めて導入します。

「NIPPON PAY」は中国のスマートフォン決済市場で大きなシェアを持つ決済サービス「WeChat Pay」「Alipay」の両方に対応していることが特徴です。両方の決済サービスに対応していることで、外国人観光客のお客さまが決済しやすい環境を整えます。

海外から日本を訪れる観光客は増加傾向が続いていて、2017年1～4月に前年同期比16.4%増の911万6000人と大きく増えました。2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けて外国人観光客が増えることが予想され、ワタミでは海外で広く利用されている仕組みを導入することで利便性を向上します。

「NIPPON PAY」は、お客様がスマートフォンでQRコードを提示し、店舗側がタブレットなどでこれを読み取ることで決済が完了します。

2016年度には、ワタミグループの外出店舗を15万5000人の外国人観光客の方々に利用いただきました。今後は、個人旅行のお客様に向けたインフラ整備を進めていく方針で、「NIPPON PAY」の導入もその一環です。

「NIPPON PAY」は、6月12日(月)から導入する「和民」銀座5丁目店を皮切りに、6月中には「和民」浅草雷門店、「和民」新宿東口靖国通り店といった2店舗で順次導入していきます。3店舗ともに以前から外国人観光客のお客さまが多いことから導入を決定しました。今後もワタミでは居酒屋という日本文化の楽しさを外国人観光客の皆さまにも提供してまいります。



スマホに表示したQRコードを読み込むだけ

■「NIPPON PAY」の導入概要

【対応決済サービス】「WeChat Pay」「Alipay」

【導入店舗】「和民」銀座5丁目店、「和民」浅草雷門店、「和民」新宿東口靖国通り店

NIPPON PAY

